

液化室だより

東大物性研究所 <http://www.issp.u-tokyo.ac.jp/labs/cryogenic/>

寒剤等の価格

平成19年度の寒剤等の供給価格が決定しました。前年度後半は、ユーザーの皆様によくの負担を掛けてしまいましたが、今年度は出来る限り通常価格に近づけていきたいと思っております。

今年の1月と2月に価格の引き下げを行いました。さらに引き下げたいと思っております。しかし、まだ通常価格には出来ませんので、ご理解の程よろしくお願い致します。

また、液化機は安定稼働していますが、**通常の供給量を確保できていないわけではございません。**

これは本郷から移設した液化機が稼働しても状況は変わらないので、**液体ヘリウムの効率的な利用**を心がけ、**申込量を控えていただくよう併せてお願い致します。**

[右図：2台の液化機]

奥が物性研の液化機（1号機）で、手前が本郷から移設した液化機（2号機）である。どちらもTCF-50だが、1号機は200L/h、2号機は150L/hの液化能力を持っている（どちらも純ガス運転時）。

平成19年度供給価格

	所内	所外
液体ヘリウム	280円/L	330円/L
液体窒素	45円/L	60円/L
ヘリウムボンベ (47L, 99.99%)	10,580円/本	



回収純度について

前号では回収率向上をお願いしましたが、今号では「**回収ガスの純度を低下させないで!**」というお願いです。

柏キャンパス内のヘリウムガス回収ラインは、基本的に正圧となっているので、装置等に漏れがあっても空気等の不純物を吸い込む事はないはずですが、しかし、ヘリウムを**減圧して行う実験**や**予冷用の窒素を追い出す**ときに**誤って回収ラインに流し込んでしまった**といった原因で、回収純度が低下する事があります。以下の原因を参考に、**実験装置や真空排気装置等のチェック**をお願い致します。

[回収純度低下の原因]

- ①減圧して行う実験装置に漏れがある。
- ②真空ポンプに漏れがある(真空ポンプへの接続ライン等の選定が不適切)。
- ③誤ってヘリウムガス以外のガスを回収ラインに流してしまう。

回収純度の低下により、液化機や回収設備に不具合が発生する場合があります。最悪の場合には、液化機の心臓部であるタービンが壊れ、供給停止という事態になる可能性もあります。

回収ラインへの不純物の混入を避け、回収純度の低下に注意してください。

問い合わせ [E-mail:ekika@issp.u-tokyo.ac.jp 内線:63515]